

第 1 回

坂東市地域公共交通会議資料

平成 1 9 年 1 2 月 4 日

坂 東 市

目 次

1 本会議の概要	1
(1) 本会議の背景と目的	1
(2) 本会議での協議事項	1
2 コミュニティバス運行計画の見直しについて	3~34
(1) 現況	3~4
(2) 課題の整理	5~6
(3) 見直し方針(案)<見直しの指針>	6
(4) 見直し計画(案)	7~15
(5) 第8回コミュニティバス検討委員会(H19.7.4)での 協議事項と対応について	16
(6) 利用者アンケート【聞き取り調査】結果について	17~27
(7) 運行計画の見直し(案)に対する意見と市の考え方について	28~29
(8) ルートの一部変更(案)及びバス停の追加(案)について	30~32
(9) 一部小学生の通学対応について	33
(10) 今後のスケジュールについて	34
3 コミュニティバス利用促進策の展開について	34~37
(1) これまでの取り組みについて	34~36
(2) 今後の取り組みについて	37
4 その他	

1 本会議の概要

(1) 本会議の背景と目的

市では、平成17年3月の旧岩井市と旧猿島町との合併に際し、地域の公共交通の充実を図ることを目的に、コミュニティバスを導入することとしました。導入に際しては、市の公共交通整備に関する基本的な考え方を整理し、調査事業を実施するとともに、多方面の代表からなる「坂東市コミュニティバス検討委員会」を組織して検討を重ね、昨年11月からコミュニティバスの運行を開始しました。

しかし、このたび、道路運送法等の一部を改正する法律の衆議院国土交通委員会及び参議院国土交通委員会の附帯決議において、地域の需要に即した乗合運送サービスの運行形態等について協議を行う新たな協議会組織を求められたことから、「坂東市コミュニティバス検討委員会」を発展的解散し、道路運送法の趣旨に基づき、市内における旅客輸送の確保と利便性の向上を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議いただくため、「坂東市地域公共交通会議」を設置しました。

(2) 本会議での協議事項

地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様、運賃、料金等に関すること。

市が運営する有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関すること。

交通会議の運営方法、その他交通会議が必要と認めること。

<参考>

坂東市公共交通整備に関する基本方針

(平成18年3月「坂東市コミュニティバス調査事業報告書」第5章)

移動制約者を含めて市民誰もが自由に移動することができる公共交通整備を目指す。

自動車で自由に移動できない移動制約者にとって、公共交通は重要な移動の足であることから、市民誰もが日常生活において、自由に移動することができる公共交通の整備を目指す。

坂東市には鉄道駅が存在しないため、市内を移動する公共交通手段はバス交通となることから、バス交通のサービス拡充が重要となる。

公共交通手段間の適切な役割分担のもと、効率的・効果的なサービスを提供する。

バスの種類によって利用のされ方が異なる傾向にあり、それぞれのバスが現在果たしている役割も異なると考えられる。

したがって、効率的・効果的なバスサービスの拡充を図るためには、これらバス交通相互の役割分担を明確にすることが重要であるといえる。

段階的かつ継続的な公共交通サービスの拡充を目指す。

近年の全国的な「バス離れ」の傾向は坂東市においても同様であるが、急激なバス便数の増加は事業採算性の観点から困難であると考えられる。

バスサービスについては、利用需要に応じて、段階的に拡充を目指し、利用者の定着を確認しながら、継続して進めていくことが重要であるといえる。

市民の立場に立った利用しやすい公共交通の整備を図る。

市民のニーズを踏まえて、運行経路や運行頻度、また、利用運賃等を設定し、市民が利用しやすいバスの運行形態の構築を図る。

子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に利用できる安全で快適な利用環境を提供する。
例) 車両の工夫、情報提供の工夫等

行政と市民が一体となって公共交通整備を推進する。

利用の定着を促すためには、市民の協力が必要不可欠であることから、行政と市民が一体となった取り組みとして計画を進めていくことが望まれる。

地元の企業、商店及び市民が運営に参画することになれば、当事者としての意識が高まることになるため、積極的な利用につながることを期待される。

2 コミュニティバス運行計画の見直しについて

(1) 現 況

経緯と状況

平成18年11月1日から運行を開始。

運行車両3台で市内5ルートを設定し、1日4便が各ルートを左右交互に巡回する。
有料運行で、1回乗車100円、年末年始を除く毎日運行する。

運行については、国土交通省の実証運行補助採択を受け、運行業務を関東鉄道株式会社に委託している。

利用者の坂東号に対する評価は高く、一般の方にも認知度は高いものの、利用したことのない人が多く、地域に十分浸透していない状況である。

その結果、坂東号の現在の利用状況は、利用者数が少ない地域や便があるなど、十分に活用されていない状況がみうけられる。

コミュニティバス『坂東号』の位置付け

コミュニティバスの導入方針

既存のバス交通サービスを補完する交通手段として、公共が主体となりコミュニティバスを運行する。

新規コミュニティバスの車両購入や運行計画等、運行に関する環境整備は公共が行い、実際の運営にあたっては積極的に民間の持つノウハウを活用する。
導入にあたっては、ハード整備のみでなく、バス事業者、地元企業・商店、市民が一体となった各種のソフト施策を実施することによって利用促進を図る。

コミュニティバスの運行サービスの考え方

コミュニティバス運行のターゲット

- ・自由に利用できる交通手段を持たない方(主に高齢者、障害者、児童・生徒など)
- ・自家用車による送迎を受けている方(主に高齢者、障害者、児童・生徒など)
- ・市内におけるバス交通不便地域の居住者

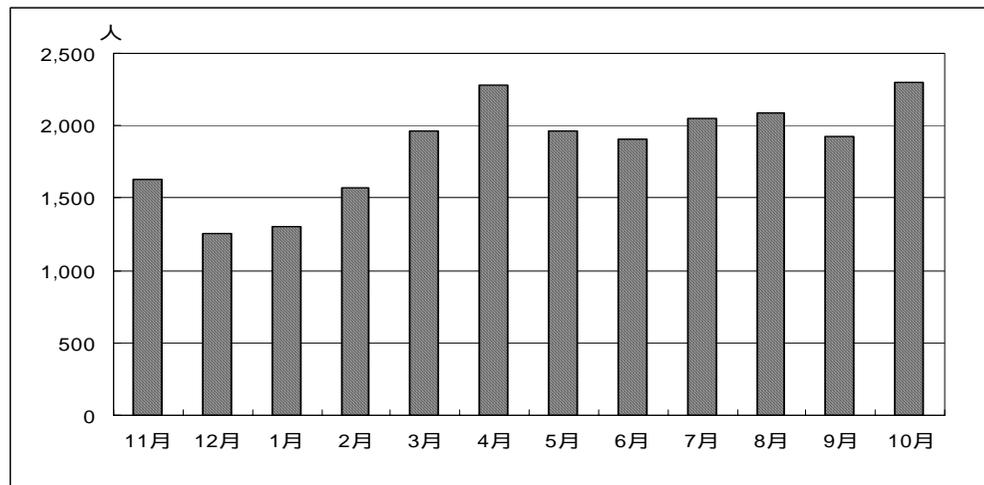
コミュニティバスが担う役割

- ・市内の公共施設、病院、商業施設等への“移動の足”
- ・市内におけるバス交通不便地域の解消、サービス格差の是正。
- ・市民の交流、コミュニティ形成の支援。

運行開始時からの利用状況

単位:人

月 (運行日数)	11月 (30)	12月 (28)	1月 (28)	2月 (28)	3月 (31)	4月 (30)	5月 (31)	6月 (30)	7月 (31)	8月 (31)	9月 (30)	10月 (31)	合計 (359)	月平均 (計/月数)	便/日 (計/4便/日数)
生子菅・逆井山	241	201	204	247	396	423	365	320	396	439	377	417	4,026	335.5	2.80
沓掛・内野山	349	321	263	361	419	528	459	481	455	458	460	584	5,138	428.2	3.58
神大実・飯島	240	173	184	232	260	260	272	216	241	256	254	256	2,844	237.0	1.98
七郷・中川	469	342	462	453	509	598	467	483	459	467	421	594	5,724	477.0	3.99
長須・七重	331	222	194	280	379	470	399	406	501	465	413	449	4,509	375.8	3.14
計	1,630	1,259	1,307	1,573	1,963	2,279	1,962	1,906	2,052	2,085	1,925	2,300	22,241	1,853.4	15.49
ルート平均(計/5)	326.0	251.8	261.4	314.6	392.6	455.8	392.4	381.2	410.4	417.0	385.0	460.0	4,448.2	370.7	3.10
日平均(計/日数)	54.3	45.0	46.7	56.2	63.3	76.0	63.3	63.5	66.2	67.3	64.2	74.2	62.0	-	-



3・4月は、お試し乗車券を実施

(2) 課題の整理

運行開始による課題の抽出

平成18年12月の利用者調査の結果を踏まえ、利用したことのない人が多く、地域に十分浸透していない状況であることから、運行の案内とともに、利用促進策として、平成19年3月・4月の2か月間無料試乗の取組みをした。

その結果、坂東号の現在の利用状況は、運行開始から増加傾向にあり、この4月からは岩井地域を運行されていた「福祉巡回バス」が廃止され、今後は、坂東号への利用が予想される。しかし、ルートやダイヤにより利用者数が少ない便があるなど、十分に活用されていない状況がみうけられる。

さらに、実際に運行してみて、一部、生活パターンと運行内容とが合致していないため、使いにくい部分があることが利用者等調査・行政区長からの調査等により分かる。加えて、「既存のバス交通サービスを補完する手段」としての坂東号の本来の運行目的が十分に理解されておらず、事業費の負担に対する様々な意見が上がっている。

利用者等アンケート調査

運行計画見直しの際の参考資料とするため、平成18年12月13日(水) 17日(日)の2日間、調査員がバスに乗り込み、利用者に調査票を配布して、利用状況や運行内容に関するアンケート調査を実施した。

また、12月11日(月)から17日(日)には、市内の各施設に調査票と回収ボックスを設置し、訪問者に広く回答してもらったほか、12月15日(金)には老人クラブ代表者会議の場で、調査票を配布する等して、利用状況や運行内容に関する調査を実施した。

区長アンケート調査

運行計画見直しの際の参考資料とするため、平成19年4月28日(土)に行われた区長懇談会の場で調査票を配布し、運行内容等に関するアンケート調査を実施した。

利用者アンケート【聞き取り調査】

利用者の声を聞くため、平成19年8月4日(土)から19日(日)の間、職員がバスに乗り込み、直接、利用者に聞き取り調査を行った。

結果は17~27ページに掲載

市民意見の整理

利用案内・周知方法

公共的施設(病院等)でのバス運行の利用案内不足等

利用促進

利用促進メニューの検討、実施等

ルートやダイヤ等の見直し

ルート及びダイヤの再検討、バス停の移動・設置等

他の路線バス等との調整・福祉バスの廃止による影響

巡回バスや路線バスとの調整等

その他

利用者マナー等の教育普及と運転手の接客対応、企業等からの収入確保対策不足等

地域からの要望事項等の整理

- 小学生の登下校に利用できる運行計画の見直し要望（七重地区・七郷地区）
- 矢作地区からの運行ルート設定の要望
- ・市道 2 - 5 号線の上矢作から県道矢作交差点までの新設ルート

（３）見直し方針（案）＜見直しの指針＞

坂東号は運行の開始から 1 年が経過したが、利用経験者も少なく、まだ十分に地域に浸透していない状況である。

そのため、本年度も、その効果を最大限に発揮するため、利用したことがない人に対して「体験してもらおう」ことや、沿線の施設との連携による情報提供など、小さな工夫や協力によるソフト的な取り組みを実施しながら、地域全体で坂東号の盛り上げ策に努める必要がある。

上記の取り組みによる利用動向を踏まえながら、ルートやダイヤの見直しの必要性の高いところや不具合な点から検討をし、運行内容の改善（見直し）を進めて行くこととする。

また、「坂東号」の目的や利用促進について、広報等により、さらなる周知を図っていくこととする。

(4) 見直し計画(案)

コミュニティバス運行の基本的考え方

コミュニティバス運行のターゲット

- ・自由に利用できる交通手段を持たない方(主に高齢者・障害者・児童・生徒など)
- ・自家用車による送迎を受けている方
- ・市内におけるバス交通不便地域の方

コミュニティバスが担う役割

- ・市内の公共施設、病院、商業施設等への“移動の足”
- ・市内におけるバス交通不便地域の解消、サービス格差の是正
- ・市民の交流、コミュニティ形成の支援
- ・高齢者の活動機会の増大、通院の不便さの解消、買い物等の確保、児童・生徒の図書館やプール等の便など、地域住民の社会生活の基盤となることを目的としている。

項目	考え方
運行ルート	安全に走行できる路線を基本に、市民のニーズや需要を考慮して設定する。
運行本数、時間帯	市民のニーズや需要を考慮し、採算性の面から検討を行い設定する。
所要時間	利便性向上と運行経費抑制のバランスを図りつつ、極度に長くないよう配慮する。
運賃	市民ニーズ、既存バスの運賃設定との関係を考慮して設定する。割引制度を設けるなど負担軽減方策も検討する。
使用車両	ノンステップバス等、バリアフリーへの対応とともに、環境に配慮したクリーンな車両を導入する。 きめ細かな需要に対応するため、車道幅員の狭い道路も走行可能な小型バスを中心に車両を選択する。

コミュニティバスルート設定方針

1. 市全域を広くカバーし、交通空白地帯の解消に努める。
ただし、需要によってサービスレベルに変化をつけ、効果的な運行を行う。
2. 基本的に道路幅員が確保され、安全に運行できる路線とする。
3. 既存の路線バスがあるルートは極力避ける。
4. 運行ルートについては、上記の1、2、3を踏まえて必要に応じて見直しを行う。
ただし、こまめなルートの変更は利用者の混乱を招くので1年程度を目安とする。

課題に基づく見直し計画

利用案内・周知方法

- ・ 分かりやすい新たな利用案内の作成（コース計画等の見直しによる対応を含む。）
- ・ 公共的施設での利用案内の協力を得て、バス運行を周知する。
- ・ 商店街の販売促進と関連したバス利用促進策をお願いする。
- ・ 市広報紙等を利用した定期的なPR活動

利用促進

- ・ 乗車状況や地域コース状況、更に季節的要素を踏まえた利用促進イベントの計画（車内へ幼児施設などの協力によるテーマ別絵画展示会など）
- ・ バスに乗車したことで、新しい情報や地域情報など、利用者にとって付加価値を与える計画（例：公共施設等の案内情報、イベント情報など）
- ・ 医療機関等に対して、バス利用者への簡便を図るなどの利用促進をお願いする。
- ・ 新たなバス停増設の検討を進め、利便性の確保を図る。
- ・ 無料乗車券の発行

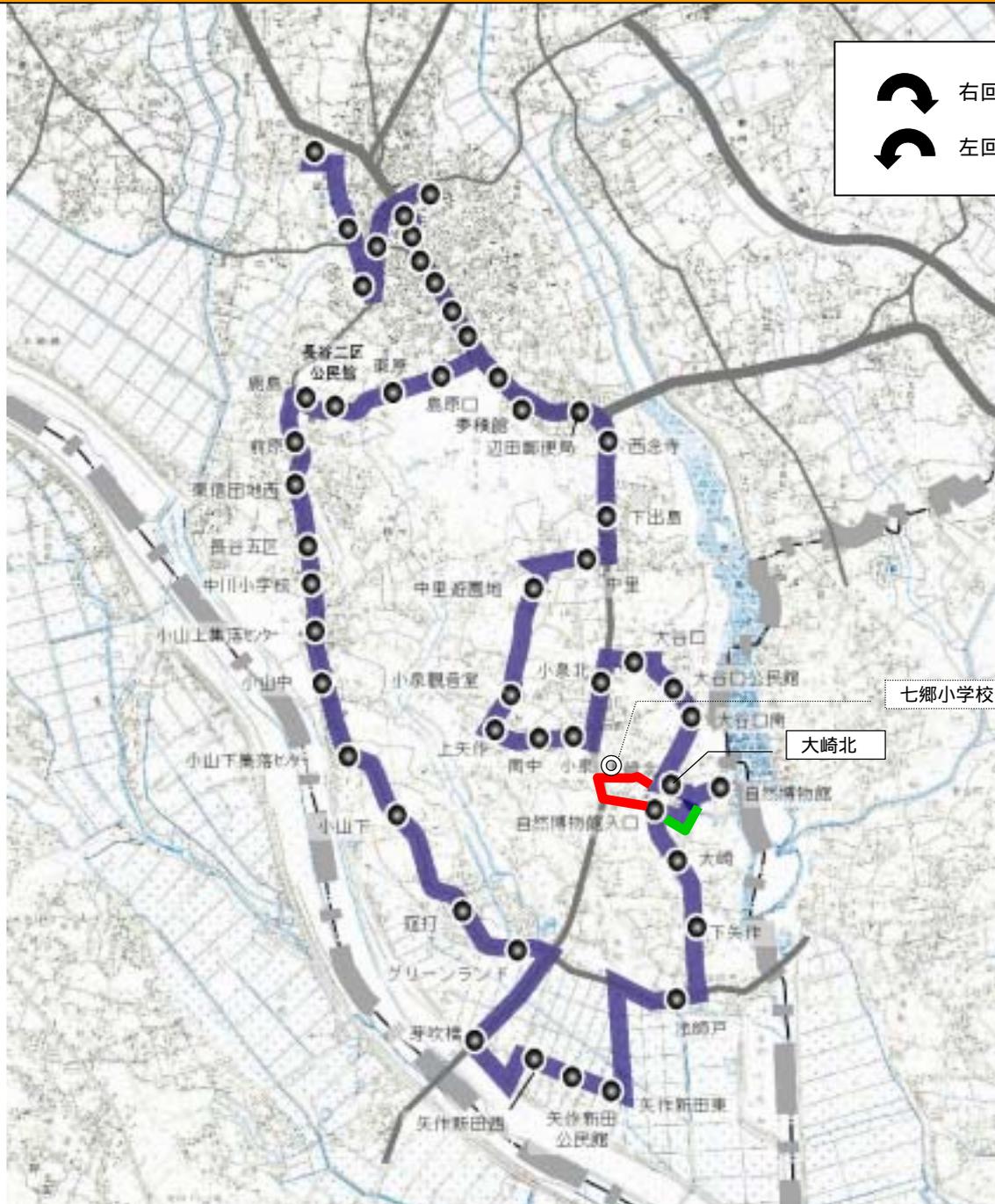
ルートやダイヤ等の見直し

- ・ 基本の設定方針を踏まえ、ルートなど運行内容の見直しを図る。
- ・ 利用状況や意向調査結果、また、要望・意見を踏まえ、全体の見直しを図る。
- ・ 市民に分かりやすい、運行ルートの変更を図る。
- ・ 利用促進に繋がる見直しを図る。
- ・ 市民から広く意見を求めて見直しを図る。
- ・ 関係機関との協議を進め、適正時期での変更を行う。

ルート計画（案）

項目	対応
七重小学校半谷地区からの要望による児童対応を踏まえた見直し	ルート・ダイヤの見直し 【生子管・逆井山ルート】
市内観光地へのルートの変更	逆井城跡公園へのルート変更 【生子管・逆井山ルート】
七郷小学校矢作新田地区からの要望による児童対応を踏まえた見直し	ルート・ダイヤの見直し 【七郷・中川ルート】
道路幅員が確保されることによるルートの見直し	ルートの見直し 【七郷・中川ルート】
利用状況を勘案したルートの変更	工業団地（幸神平）内のルートの変更 【神大実・飯島ルート】
岩井市街地の往復ルートの見直し	夢積館への市街地往復ルートの変更 【全ルート対象】

ルート計画(案) ・ 【七郷・中川ルート】

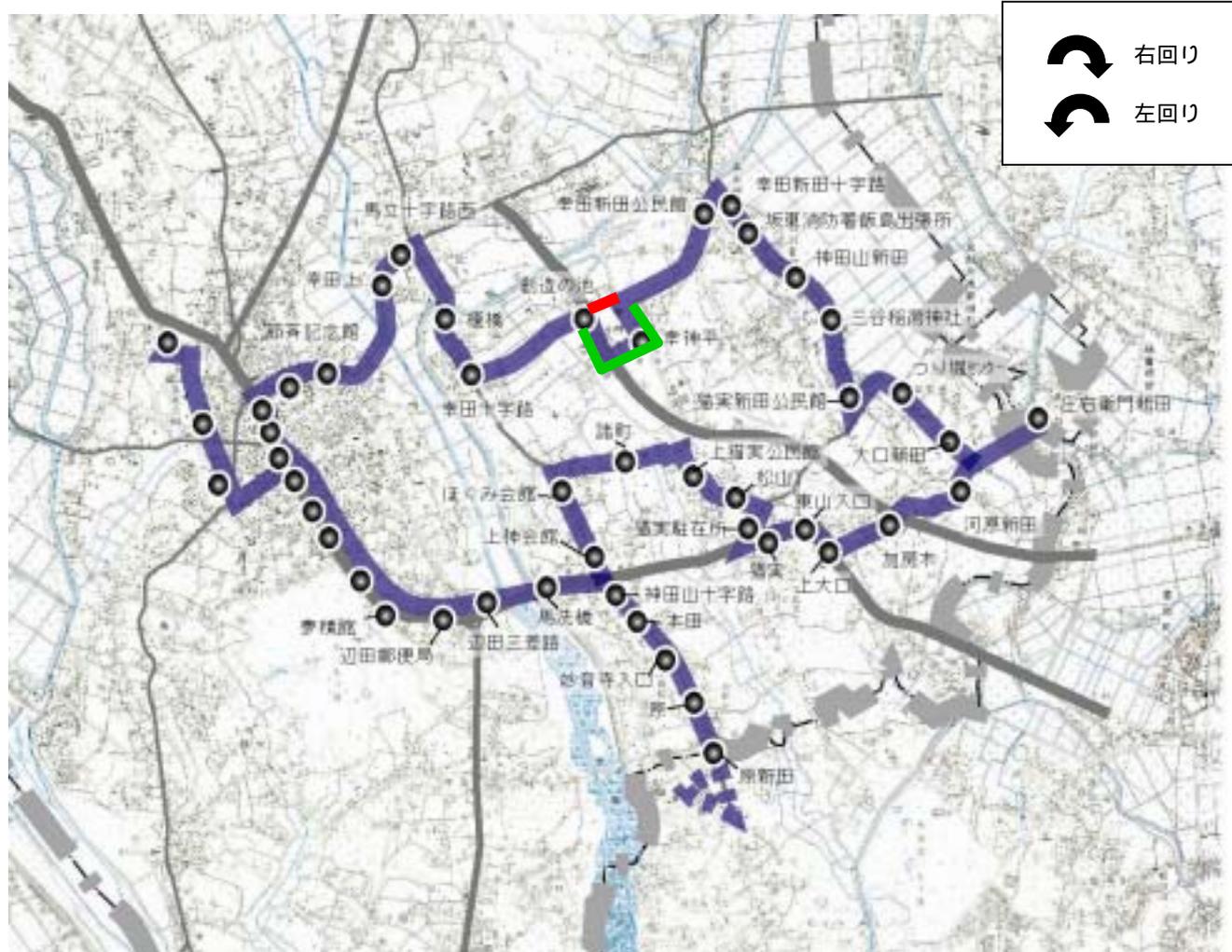


七郷小学校矢作新田地区児童の通学に対応するため、1便目を左回りとする。そのため、2便目・4便目を右回り、3便目を左回りとする。

道路の混雑状況により、芽吹橋周辺のルートについては、若干の変更もある。

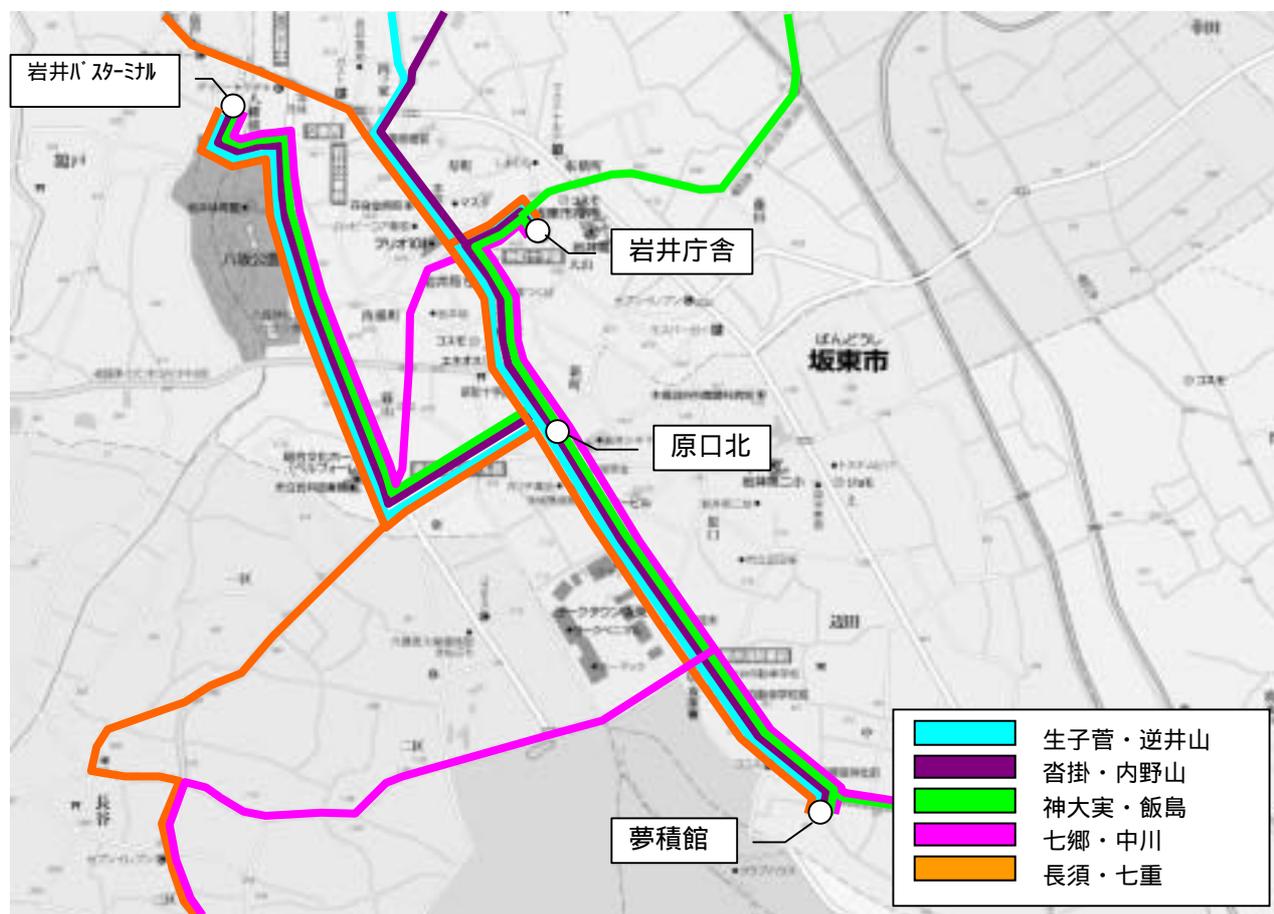
道路幅員が確保されることから、七郷郵便局、JA岩井七郷支店等の公共的施設を巡回することにより、地域住民の利便性が確保できるとともに、さらなる利用促進が望めるため、博物館入口バス停から七郷郵便局前を通り、結城・坂東線から七郷小学校前を通るルート(地図：赤線)に変更する。そのため、博物館入口バス停から自然博物館バス停へ向かうルート(地図：緑色)については、廃止する。

ルート計画(案) 【神大実・飯島ルート】

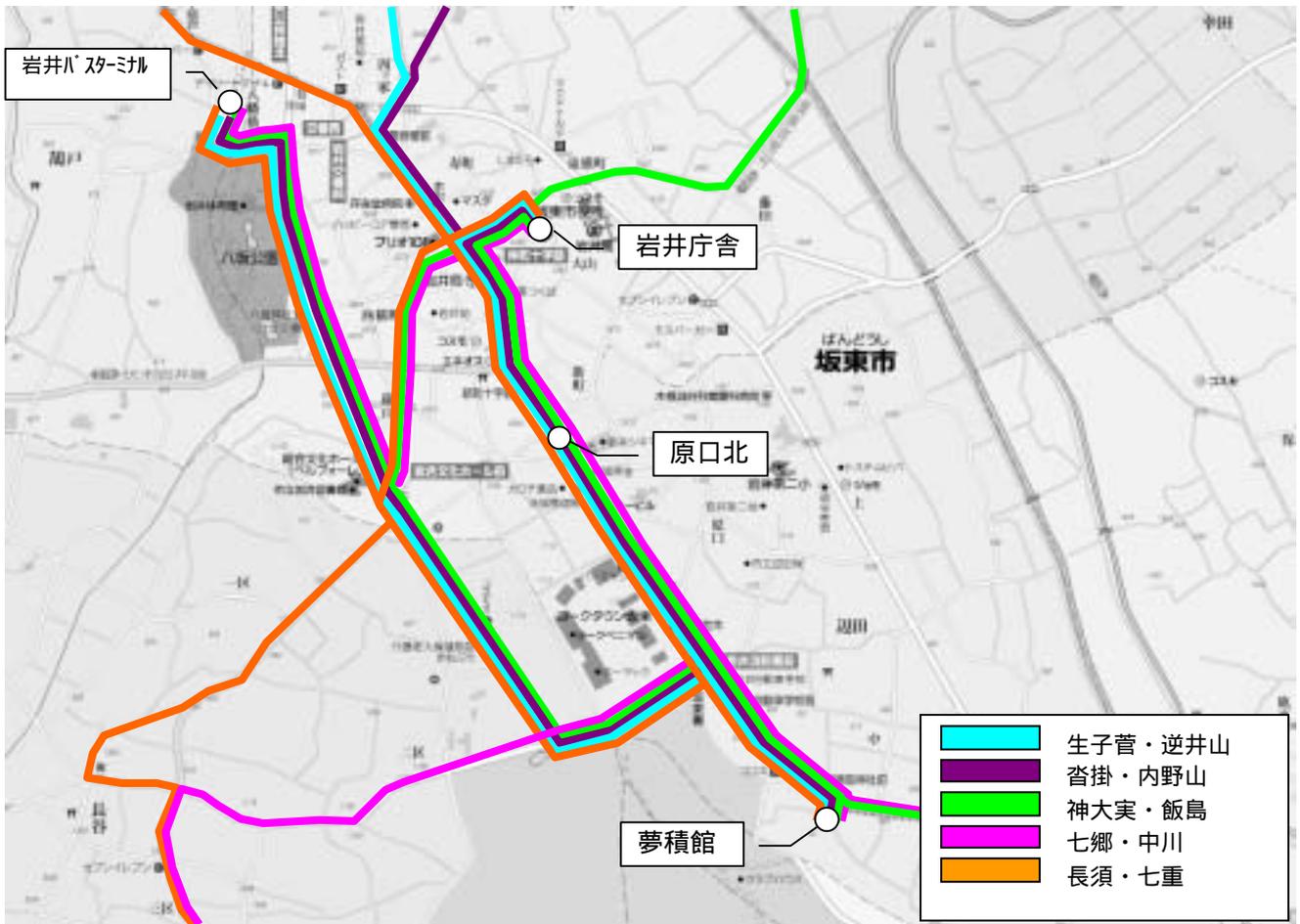


利用状況を勘案し、創造の池バス停から幸田新田公民館バス停方面へ向かうルート(地図:赤線)に変更する。そのため、工業団地(幸神平)内の幸神平バス停を通るルート(地図:緑色)を廃止する。

現行のルート 【中心市街地】



ルート計画(案) 【中心市街地】



岩井市街地の往復ルートの煩雑さを解消するため、岩井バスターミナルを出発し、ベルフォーレバス停から介護老人保健施設きねぶち前を通り、坂東消防署前から夢積館バス停へと向かい、市街地を巡回するルートに変更する。

七郷・中川ルートについては、変更なし。

ダイヤ設定（案）

項 目	関係するルート
七重小学校半谷地区からの要望による児童対応を踏まえたダイヤ設定	【生子菅・逆井山ルート】
利用状況を勘案したダイヤ設定	【神大実・飯島ルート】
七郷小学校矢作新田地区からの要望による児童対応を踏まえたダイヤ設定	【七郷・中川ルート】
全体的な時間短縮を図るためのダイヤ設定	【全ルート】
1ルートあたりの所要時間の短縮によるダイヤ設定	【全ルート】
利用者の医療機関や商業施設等での所要時間を勘案したダイヤ設定	【全ルート】

ダイヤ設定（案）の内容

対 応	関係するルート
七重小学校半谷地区児童の通学に対応するため、生子菅・逆井山ルート1便目の始発地を半谷北バス停にし、右回りに巡回する。また、3便目は1便目の逆回り（左回り）に巡回し、終点を半谷北バス停とする。2便目・4便目のルートに変更はないが、3便目を左回りとするため、4便目は右回りとする。	【生子菅・逆井山ルート】
利用状況を勘案し、1便目・3便目を左回り、2便目・4便目を右回りに設定する。	【神大実・飯島ルート】
七郷小学校矢作新田地区児童の通学に対応するため、七郷・中川ルート1便目の出発時刻を早め、左回りとする。そのため、2便目・4便目を右回り、3便目を左回りとする。	【七郷・中川ルート】
岩井市街地等の他のバス停で乗り継ぎできることから、全体的な時間短縮を図るため、岩井バスターミナルでの同時スタートを廃止する。	【全ルート】
運行状況から、1ルートあたり5分程度の時間短縮を図るため、各ルートあたりの所要時間を見直したダイヤ設定とする。	【全ルート】
利用者の医療機関や商業施設等での所要時間を勘案し、次の便が出発するまで1時間程度の時間を考慮したダイヤ設定とする。	【全ルート】

沓掛・内野山ルート、長須・七重ルートは変更なし。

現行のダイヤ設定

コース別運行計画

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
生子菅 逆井山		右回り 号車				左回り 号車			右回り 号車		左回り 号車			
沓掛 内野山				右回り 号車			左回り 号車		右回り 号車				左回り 号車	
神大実 飯島		右回り 号車		左回り 号車			右回り 号車				左回り 号車			
七郷 中川			右回り 号車		左回り 号車				右回り 号車				左回り 号車	
長須 七重		右回り 号車			左回り 号車		右回り 号車				左回り 号車			

車両別運行計画

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
号車	右回り (生子菅・逆井山)		右回り (七郷・中川)		左回り (生子菅・逆井山)		左回り (沓掛・内野山)		右回り (生子菅・逆井山)		左回り (生子菅・逆井山)			
号車	右回り (神大実・飯島)		左回り (神大実・飯島)		左回り (七郷・中川)		右回り (神大実・飯島)		右回り (七郷・中川)		左回り (神大実・飯島)		左回り (七郷・中川)	
号車	右回り (長須・七重)		右回り (沓掛・内野山)		左回り (長須・七重)		右回り (長須・七重)		右回り (沓掛・内野山)		左回り (長須・七重)		左回り (沓掛・内野山)	

ダイヤ設定(案)

コース別運行計画

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
生子菅 逆井山		右回り(スクール)半谷北始発 号車				左回り 号車			左回り(スクール)半谷北止り 号車	回送	右回り 号車			
沓掛 内野山				右回り 号車			左回り 号車		右回り 号車				左回り 号車	
神大実 飯島			左回り 号車		右回り 号車		左回り 号車		右回り 号車		右回り 号車			
七郷 中川	左回り(スクール) 号車		右回り 号車			左回り 号車			右回り(スクール) 号車					
長須 七重		右回り 号車			左回り 号車		右回り 号車				左回り 号車			

車両別運行計画

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
号車	右回り(スクール)半谷北始発 (生子菅・逆井山)		右回り (七郷・中川)		左回り (生子菅・逆井山)		左回り (沓掛・内野山)		左回り(スクール)半谷北止り (生子菅・逆井山)	回送	右回り (生子菅・逆井山)			
号車	左回り(スクール) (七郷・中川)		左回り (神大実・飯島)		左回り (長須・七重)		左回り (七郷・中川)		左回り (神大実・飯島)		右回り(スクール) (七郷・中川)		右回り (神大実・飯島)	
号車	右回り (長須・七重)		右回り (沓掛・内野山)		右回り (神大実・飯島)		右回り (長須・七重)		右回り (沓掛・内野山)		左回り (長須・七重)		左回り (沓掛・内野山)	

(5) 第8回コミュニティバス検討委員会(H19.7.4)での協議事項と対応について

主な協議事項	対 応
医療機関とか、文化施設とか、実際の乗り降りの状況を調べてほしい。	バス停ごとの乗り降りについては、調査・集計しているが、どの地域の人がどの施設まで利用しているかについては、調査していないので、バスに乗り込んで、直接、利用者の聞き取り調査を実施する。
バスに乗り込み、生の声を聞き取り調査したらいいと思う。	(平成19年8月実施) 結果は17~27ページに掲載
実際に利用している交通弱者等に集まってもらい会議を開くのはどうか。	利用者の意向も調査したいので、機会があれば、その都度、調査したい。
手を上げての乗り降りは無理かもしれないが、降りるときのみでもできないか。市街地以外では、できるように検討してほしい。	フリー乗降について検討をしたが、実施している市町村は県内でも少なく、運転手と利用者間でトラブルが多いため、バス停を増やすことで対応したい。
幸神平を通らない分、便無まで通してほしい。いちだなでUターンして、折り返して運行すればいい。神田山が通れるなら便無も通れる。	コミュニティバスは、Uターンを避けて運行している。道路の整備状況を見ながら、検討したい。
燃料も高騰しているし、環境にもよいので、利用促進したらよい。	利用促進策を展開していく。
市民周知として、おじいちゃん、おばあちゃんと孫のペア券でスタンプラリーなどはいかがか。	(現在、運行開始1周年記念として、11月・12月の2か月間有効の無料乗車を実施中)

(6) 利用者アンケート【聞き取り調査】結果について

下記の項目について、職員がバスに乗り込み、直接、利用者に聞き取り調査を行った。

調査期日 平成19年8月4日(土)～19日(日)
調査対象 全便、全ルート、平日・休日 各1日分
(4便/日×5ルート×2日分=合計40便)
回答数 87人(平日43人、休日44人)

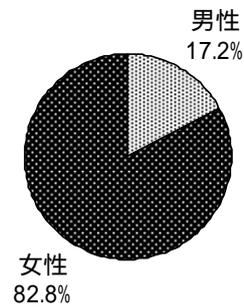
調査内容

	項目
1	性別
2	年代
3	職業
4	居住地
5	利用目的(目的地)について
6	利用頻度について
7	利用する理由について
8	日常の交通手段について
9	バス停までの手段について
10	便数について
11	運行時間帯について
12	バス停の配置について
13	バス車両について
14	料金について
15	回数券について
16	定期券について
17	運転手について
18	バスを利用した感想について
19	他の利用者について
20	バスに乗ってみて思うほしいもの
21	自由意見

1) 性別について

女性の利用者が多く、82.8%を占めた。

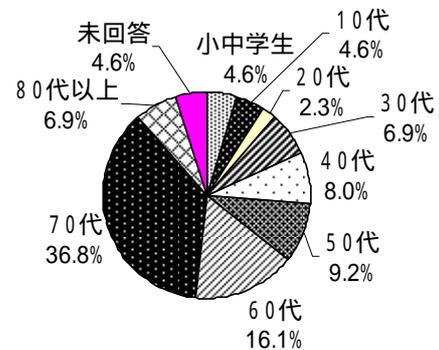
	回答数	構成 (%)
男性	15	17.2
女性	72	82.8
計	87	100.0



2) 年代について

70歳代が36.8%、60歳代が16.1%と高齢者の利用者が多く、60歳代以上の利用者が全体の約60%を占めた。

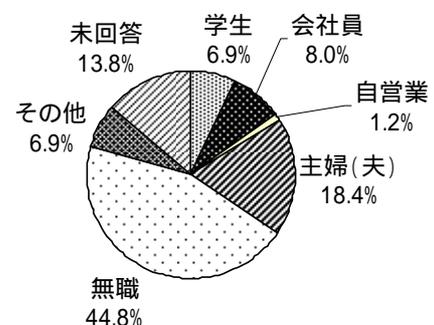
	回答数	構成 (%)
小中学生	4	4.6
10歳代	4	4.6
20歳代	2	2.3
30歳代	6	6.9
40歳代	7	8.0
50歳代	8	9.2
60歳代	14	16.1
70歳代	32	36.8
80歳代以上	6	6.9
無回答	4	4.6
計	87	100.0



3) 職業について

無職が44.8%、主婦(夫)が18.4%と仕事を持たない人の利用が多く、全体の約60%を占めた。

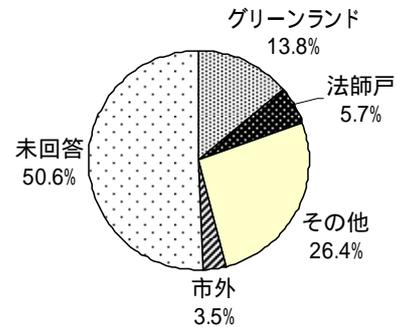
	回答数	構成 (%)
学生	6	6.9
会社員	7	8.0
自営業	1	1.2
主婦(夫)	16	18.4
無職	39	44.8
その他	6	6.9
無回答	12	13.8
計	60	100.0



4) 居住地について

七郷・中川ルートグリーンランドに居住している利用者が13.8%を占めた。

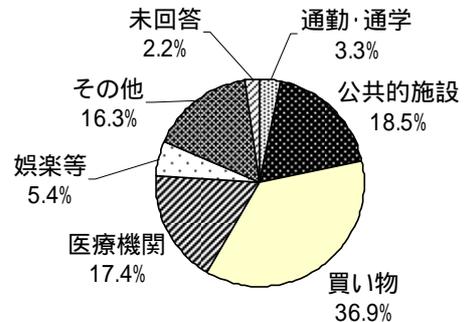
	回答数	構成(%)
グリーンランド	12	13.8
法師戸	5	5.7
その他(市内)	23	26.4
市外	3	3.5
無回答	44	50.6
計	87	100.0



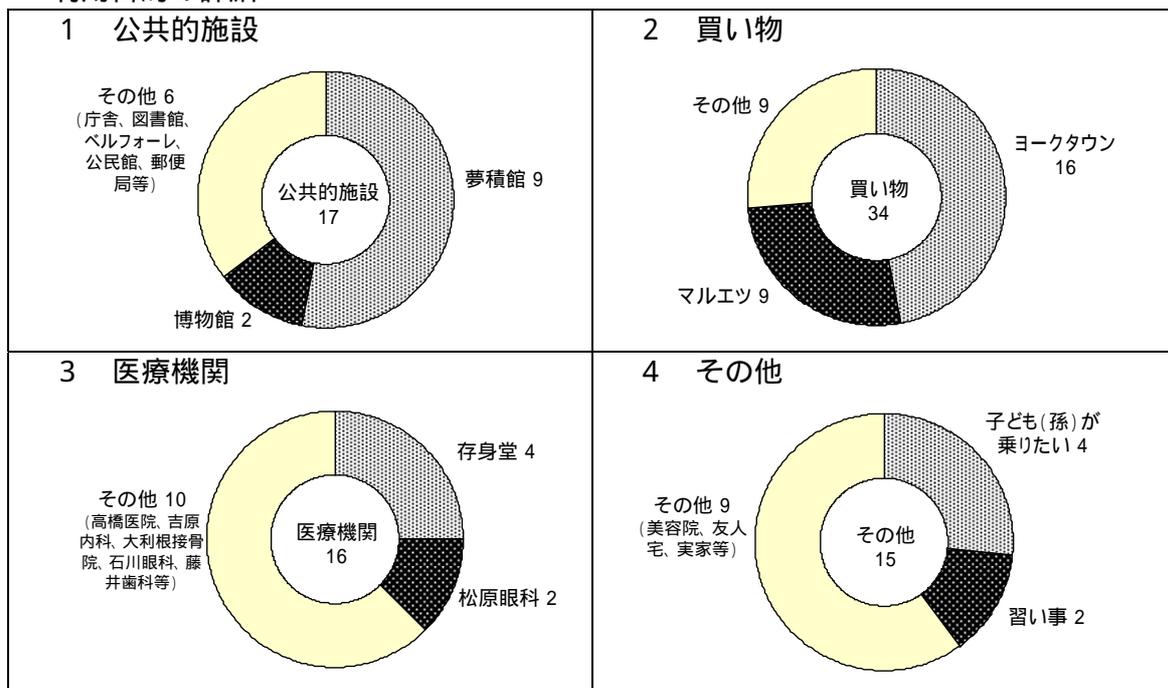
5) 利用目的について

買い物が36.9%、次いで公共的施設が18.5%を占めた。

	回答数	構成(%)
通勤・通学	3	3.3
公共的施設	17	18.5
買い物	34	36.9
医療機関	16	17.4
娯楽・レクリエーション	5	5.4
その他	15	16.3
無回答	2	2.2
計	87	100.0



< 利用目的の詳細 >

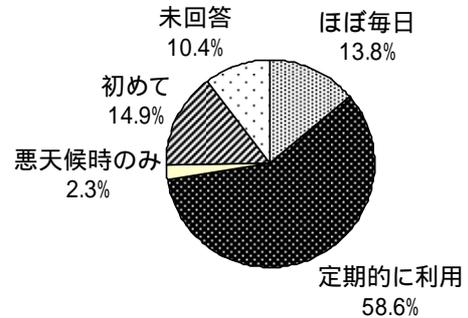


6) 利用頻度について

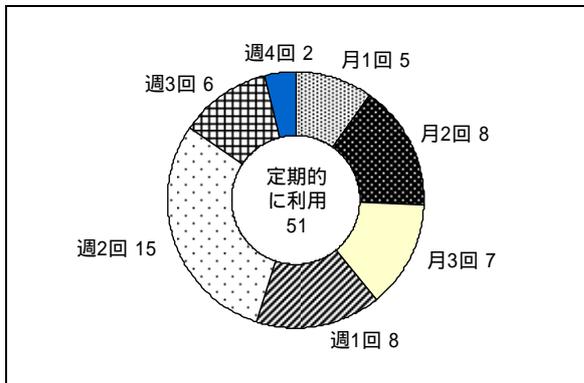
定期的にご利用している人が多く、59.1%を占めた。

また、定期的にご利用している人で、週1回以上利用する人は、60.8%いた。

	回答数	構成 (%)
ほぼ毎日	12	13.8
定期的にご利用	51	58.6
悪天候の時のみ	2	2.3
初めて	13	14.9
無回答	9	10.4
計	87	100.0

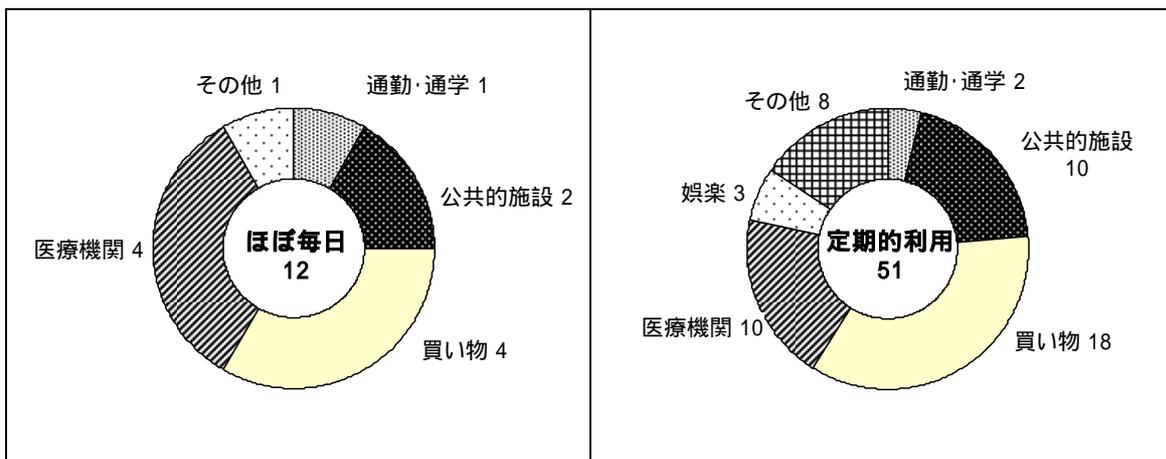


< 利用頻度の詳細 >



< 利用頻度と利用目的の分析 >

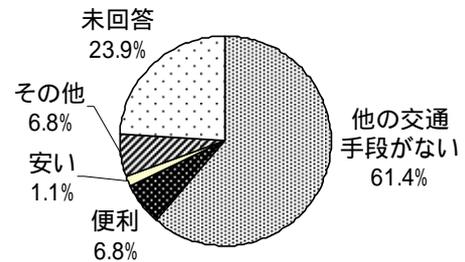
ほぼ毎日利用する人(12人)や定期的にご利用している人(51人)の目的を分析すると、買い物や医療機関、公共的施設が多く、コミュニティバスが担う役割である“日常の移動の足”として利用されていることが分かる。



7) 利用する理由について

他の交通手段がない人が 61.4% を占めた。

	回答数	構成 (%)
他の交通手段がない	54	61.4
便利だから	6	6.8
安いから	1	1.1
その他	6	6.8
無回答	21	23.9
計	87	100.0

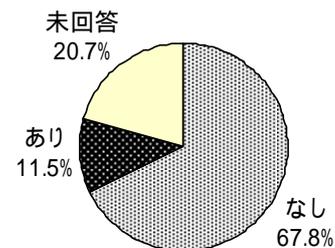


子ども（孫）が乗りたいからという人が 4 人いた。

8) 日常の交通手段について

日常の交通手段を持たない人が 67.8% を占めた。

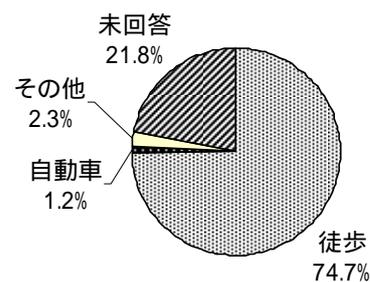
	回答数	構成 (%)
ない	59	67.8
ある	10	11.5
無回答	5	20.7
計	87	100.0



9) バス停までの交通手段について

バス停までは徒歩という人が 74.7% を占めた。

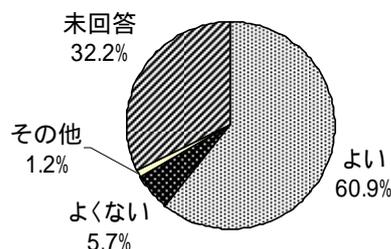
	回答数	構成 (%)
徒歩	65	74.7
自動車	1	1.2
その他（送迎）	2	2.3
無回答	19	21.8
計	87	100.0



10) 便数について(1日4便)

よいと答えた人が60.9%を占めた。

	回答数	構成(%)
よい	53	60.9
よくない	5	5.7
その他	1	1.2
無回答	28	32.2
計	87	100.0

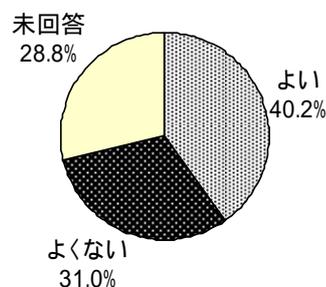


60分に1便ほしい、午前中にもう1便ほしい、増便してほしい、朝晩の便を増やしてほしいという意見があった。

11) 運行時間帯について

よいと答えた人が40.2%、よくないが31.0%を占めた。

	回答数	構成(%)
よい	35	40.2
よくない	27	31.0
無回答	25	28.8
計	87	100.0



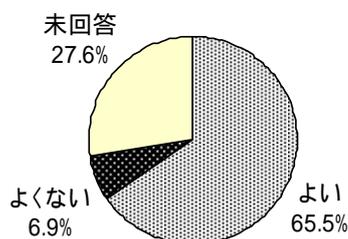
意見

ルート	意見
生子菅・逆井山	他の路線バスに連絡(乗継)してほしい。 境町にある施設に通っているので、8時発の便があるといい。
沓掛・内野山	7時30分か8時の便がほしい。 5時ごろの便があるといい。 帰りが12時ごろあるとよい。(今の便だと午後になってしまうので、昼食代がかかる) 夕方4~7時ごろの増便希望。 帰りが2時ごろあるとよい。
神大実・飯島	3時ごろの便があるといい。 9時30分くらいの便があるといい。 全体的にもう少し早い時間帯になるといい。
七郷・中川	1便目が遅い。グラウンドゴルフに間に合わない。 1便目と2便目の間隔が短い。買い物が大変。 朝早い便があるといい。9時台の便があるとよい。 公民館講座に使いたい。1時ごろあるといい。 最終便をもう少し早く。冬は真っ暗で治安上よくない。 冬は最終便の時間を早めたほうがいい。
長須・七重	3時ごろの便があるといい。 原口北バス停を12時ごろ出発だといい。 朝早すぎるので、朝9時ごろ、帰りは3時半ごろの便があるといい。

12) バス停の配置について

よいと答えた人が 65.5% を占めた。

	回答数	構成 (%)
よい	57	65.5
よくない	6	6.9
無回答	24	27.6
計	87	100.0

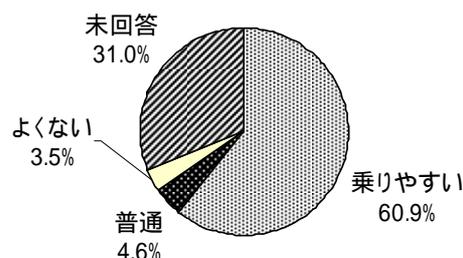


自宅から遠い(20分歩く)、存身堂で乗降したい、バイパスにバス停があるといい、まめにあるとうれしい、横山商店にバス停がほしいという意見があった。

13) バス車両について

乗りやすいが 60.9% を占めた。

	回答数	構成 (%)
乗りやすい	53	60.9
普通	4	4.6
よくない	3	3.5
無回答	27	31.0
計	87	100.0

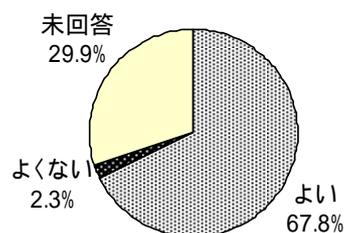


においが気になる、前向きがいい、揺れるという意見があった。

14) 料金について

よいと答えた人が 67.8% を占めた。

	回答数	構成 (%)
よい	59	67.8
よくない	2	2.3
無回答	26	29.9
計	87	100.0

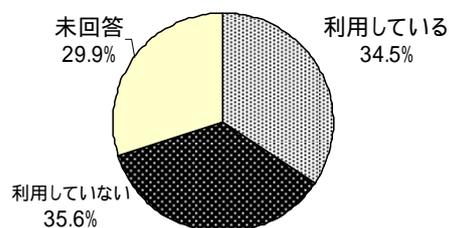


もう少し安く(70歳以上は無料等)してほしい、利用促進を図るなら無料にしてほしいという意見があった。

15)回数券について

利用しているが34.5%、利用していないが35.6%を占めた。

	回答数	構成(%)
利用している	30	34.5
利用していない	31	35.6
無回答	26	29.9
計	87	100.0

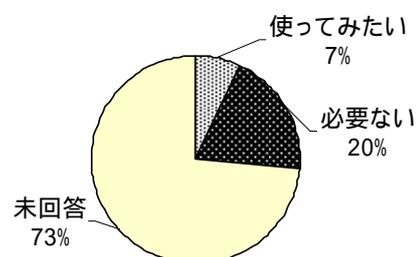


知っているが利用していないという人が19人いた。

16)定期券について

ほぼ毎日利用している(12人)の半数が使ってみたいと答えた。

	回答数	構成(%)
使ってみたい	6	6.9
必要ない	17	19.5
無回答	64	73.6
計	87	100.0

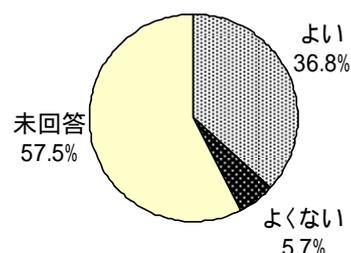


15%引き(5,000円)くらいなら使ってみたい、月500円くらいなら使ってみたいという意見があった。

17)運転手について

よいと答えた人が36.8%を占めた。

	回答数	構成(%)
よい	32	36.8
よくない	5	5.7
無回答	50	57.5
計	87	100.0



運転が荒い人がいた、他の客と話をしている、音声案内がなく、降りたいバス停で降りられないことがあったという意見があった。

18)バスを利用した感想

便利になった。(38人)

毎日運行で便利。(2人)

冷暖房があり、ノンステップなので乗りやすい。(神大実・飯島ルート/50代女性)

便利になった。なくなると困る。(長須・七重ルート/80代男性)
難しい。(生子菅・逆井山ルート/30代男性)
もっと細い道も通れるといい。(七郷・中川ルート/70代女性)

19) 他の利用者の声

2時間おきくらいであるとよい。帰りのバスがなくて、茨急を使う人が多い。(七郷・中川ルート/70代女性)
朝晩を減らして、昼の便を増便してほしい。(神大実・飯島ルート/70代女性)
高齢者がバスの色で乗る等、間違えやすい。(沓掛・内野山ルート/50代女性)
住宅からバスに乗って市街地に行くにはAルートに乗ってぐるっと回るか庁舎まで歩いて行かないといけない。お年寄りだと歩けなくてタクシーを使っている人が多い。(神大実・飯島ルート/50代女性)
バスの間隔が1時間では短い。(七郷・中川ルート/60代男性)
ひばりに比べ、バス停までが遠くなり、乗るのが面倒になった。(神大実・飯島ルート/60代女性)
便利になった。(沓掛・内野山ルート/70代女性 ほか4人)
乗ったことのない人が、左右回りが難しいと言っていた。(長須・七重ルート/80代女性)
弓田一区、二区のひばりを利用していた人たちから利用しにくいとの声がある。80%くらいの人が使っていない。沓掛まで回る、左右回り等、慣れていないせいだと思う。(生子菅・逆井山ルート/60代女性)
吉原医院等の通院に便利と言っていた。(沓掛・内野山ルート/50代女性)

20) バスに乗ってみて思うほしいもの

イベントの案内
割引券(商店街とあわせたキャンペーン)

21) その他自由意見

兄弟に送迎を頼むより気軽でいい。(沓掛・内野山ルート/70代女性)
市街地のバス停で待っているときに、何ルートもバスが止まり、合図をしないといけないのが面倒。(神大実・飯島ルート/60代女性)
朝早い便がないので、1便目を早くしてほしい。今は、急行ばんど号で行って、帰りに利用している。(七郷・中川ルート/70代女性)
朝晩の便を増やしてほしい。(七郷・中川ルート/60代女性)
足が悪いので、ノンステップで乗りやすい。茨急を利用するとお金がかかるので、コミバスができてよかった。時刻表が見つらい。(七郷・中川ルート/70代女性)

足をけがしてしまい大変助かっている。(沓掛・内野山ルート/70代女性)
家の人に送ってもらわず、気楽に乗れていい。(長須・七重ルート/80代女性)
行きはベニマルまで歩き、帰りにバスに乗った。今は子ども夫婦の車があるからよいが、ひとりで出かけるときなどに乗れるので、走っているとよい。(七郷・中川ルート/70代男性、女性)
岩井はどのルートを通っても便が多いのでよい。(七郷・中川ルート/70代女性)
買い物の時間が1時間あればいい。(七郷・中川ルート/50代女性)
買い物の時間を確保するため、市街地発12時があるといい。(七郷・中川ルート/70代女性)
神大実小前を通るのがあるといい。(神大実・飯島ルート/70代女性)
環境に悪いから、いっぱい乗ったほうがいい。1人、2人ならタクシー補助の方が安い。中途半端な料金なら無料にすれば、もっと乗るかもしれない。(七郷・中川ルート/60代男性)
グラウンドゴルフ(9時)に間に合うからいい。(神大実・飯島ルート/80代女性)
暗くなるとバス停までに林があり利用できない。時間が長く乗り物酔いしてしまう。自転車置き場がない。(沓掛・内野山ルート/40代女性)
健康のため歩くようにしているため、遅くなって暗い時、雨の時のみ利用する。(沓掛・内野山ルート/50代女性)
子どもが乗りたいというので、初めて乗りにきた。(沓掛・内野山ルート/20代女性)
サンキに行くバス停があればいい。気軽に使えて便利。昭和観光のバスも土日やってほしい。(沓掛・内野山ルート/50代女性)
時間はかかるが、景色や花を楽しめていい。冬は暗くなるのが早いので、夕方の便は乗らない。ひばりが火曜日だったから、火曜日の利用が多い。ボケ防止にコミュニケーションがとれて楽しい。ハルワカ前にベンチがあって待つのにいい。日差しが暑いので、カーテンがほしい。料金を払ったほうが、気持ちよく乗れる。(長須・七重ルート/80代女性)
自分では書けないので、聞いてくれるアンケートはうれしい。(精神障害あり)(生子菅・逆井山ルート/30代男性)
週3日くらいでいい。(週1日だと少ない)(神大実・飯島ルート/70代女性)
送迎してもらおうと気を遣うが、気軽に乗れていい。(生子菅・逆井山ルート/60代女性)
送迎してもらわずに病院に行けて大変助かっている。今度は石川眼科にも行きたい。(生子菅・逆井山ルート/80代女性)
ちょっと遅れる時が不便に感じる。(生子菅・逆井山ルート/10代女性)
特にベニマルなど市街地のバス停の表示が見づらい。どのルートがどちらの方向に行き、どのバス停に止まらないのか分からないので、運転手さんに確認しなければならない。目的地がバス停の中間なので、フリー乗降ができるとよい。(神大実・飯島ルート/50代女性)
乗っている人が少ないから、便数を増やさなくてよい。(神大実・飯島ルート/60代女性)

乗り物酔いするので、時短するとうれしい。中生子など利用のないところを見直して、西原集落センター先のあさま公園を通過してほしい。(長須・七重ルート/70代女性)
初めて博物館に来たが、茨急バスとの接続がよくない。(七郷・中川ルート/50代男性)
バスが走っているだけでうれしい。(沓掛・内野山ルート/70代女性)
バス停にイスがあるといい。(神大実・飯島ルート/60代女性)
ひばりの方がよかった。(わかりにくい)(生子菅・逆井山ルート/40代女性)
病院に行くのに10:08 10:27、帰り11:07 11:22だと時間が足りない。次の便だと5時間くらい空いてしまうので、行きは家族に送ってもらい、帰りに利用することが多い。(七郷・中川ルート/70代女性)
病院の待合室的なバス友達がいる。障害が出たので、車をやめてバスにしている。乗らないときは気づかなかったが、便の間隔がよくない。(七郷・中川ルート/70代男性)
便数よりも間隔が重要だと思う。(七郷・中川ルート/60代女性)
冬の時間に合わせたダイヤがあるといい。施設の時間に合わせたダイヤにしてほしい。(七郷・中川ルート/60代男性)
法師戸地区ではベルフォーレや夢積館でイベントがあると、高齢者はみんなで乗って行っている。(ベルフォーレのチャリティコンサートの時は、法師戸だけでいっぱいでした。)(七郷・中川ルート/70代女性)
毎日、運転手さんと話したり、他のルートへ乗ったりして楽しい。(長須・七重ルート/30代女性)
孫を連れて博物館に行ったり、中川の友達を訪ねたり、楽しく使っています。ベルフォーレの通りに外灯があればいい。(生子菅・逆井山ルート/70代女性)
もう1便、昼の便がほしい。(七郷・中川ルート/70代女性)
もう少し料金が高くてもいいから、便数増してほしい。(七郷・中川ルート/70代女性)
横向きだと酔ってしまう。カーテンがほしい。窓が開かない。ひばりのころ怒られて嫌な思いをした。(長須・七重ルート/60代女性)
冷房が少し強い。(神大実・飯島ルート/50代女性)
便数が増えれば、200円になってもいい。(七郷・中川ルート/70代女性)

(7) 運行計画の見直し(案)に対する意見と市の考え方について

意見募集期間 平成19年8月1日(水)～8月31日(金)
寄せられた意見の数 9件(3人)

【意見の整理の方法】

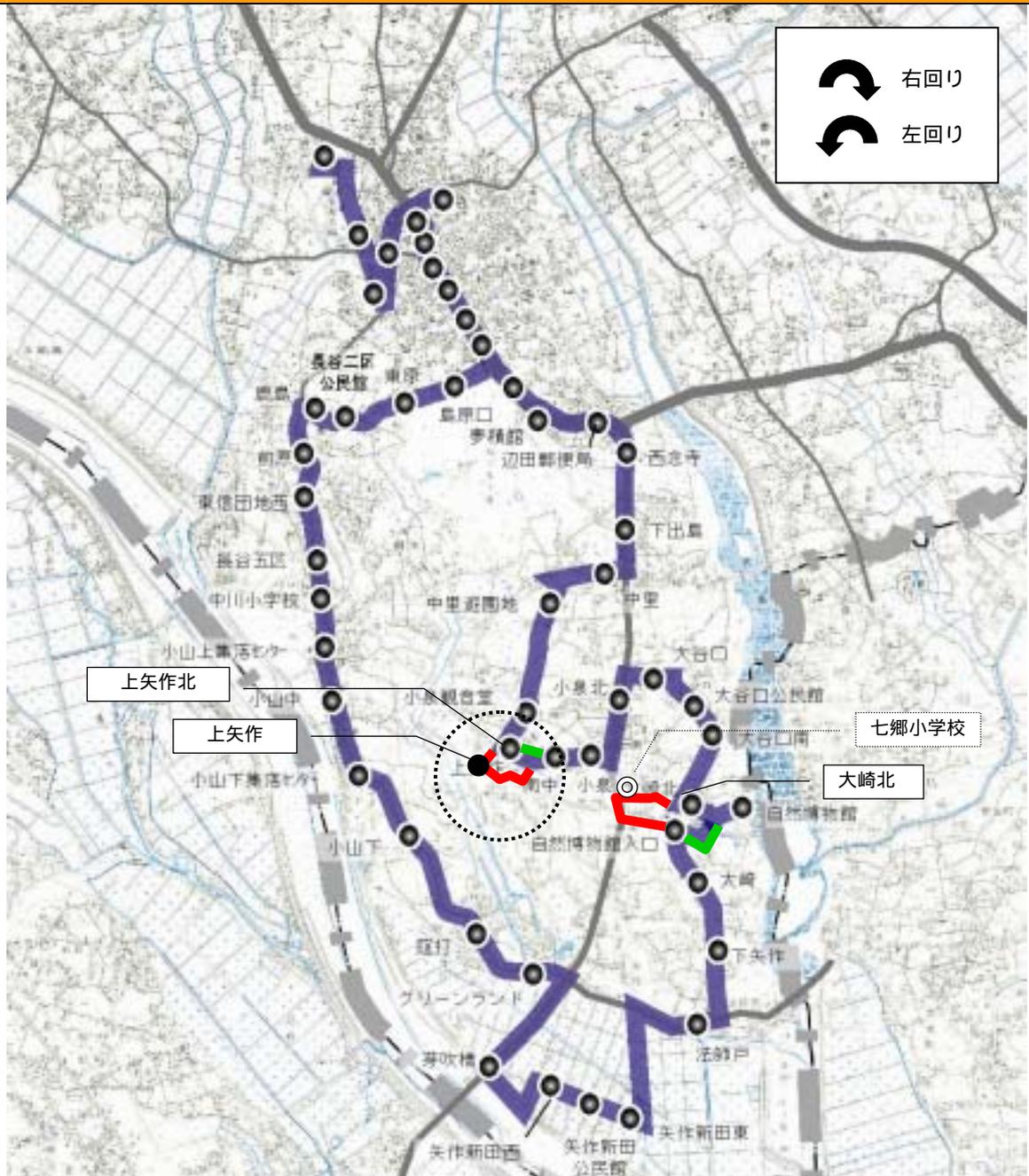
- 採用・・・提出された意見を反映するもの、または既に反映済みのもの
- 一部採用・・・提出された意見の一部を反映するもの、または既に一部反映済みのもの
- 参考・・・今後の運行計画の見直しの際、参考にするもの
- 不採用・・・今回の運行計画の見直しには反映しないもの

	意見の概要	市の考え方	
		採用等	内容・理由等
1	今回の運行計画見直し(案)の作成にあたっては、コミュニティバスの導入方針、運行サービスの基本的な考え方が十分に反映されているでしょうか。	採用	コミュニティバスの導入方針、運行サービスの考え方に基づき、今回の運行計画の見直し(案)を作成しています。
2	各地域の実情や要望を十分把握し、利用者(主に障害者、児童、生徒など)にとって便利で利用しやすい運行コースと時刻表に改善されているでしょうか。	採用	各行政区長のアンケート調査や市民からの要望、利用者からの聞き取り調査等の結果を参考にして、今回の運行計画見直し(案)を作成しました。 また、時刻表についても、利用者が利用しやすいよう改善していきます。
3	上矢作地区は地域内の幹線道路に停留所がなく、小泉地区との境界道路の一部を運行するのみでもあまりにも不便であり、多くの利用希望者にとって利用困難な状況にあります。 上矢作地区から地元の総意として地域内幹線道路の新設要望が重ねて行われており、幼稚園の送迎バスも運行しているにも拘らず道路事情等を理由に見送られる状況にあると伺っています。大きな財政負担を伴う事業ですから、地域住民に喜ばれ、便利で感謝されるような運行を強く要望します。もし、要請済みの幹線道路の新設運行が当面どうしても難しい場合は、事情を詳しく説明していただくとともに、現在のコースに並行する一部地域内迂回コースに路線変更できないでしょうか。停留所を数箇所追加しても、運行時間は大きな変更を行うことなく、利便性が改善されると思います。	一部採用	上矢作地区から要望された市道(岩2級5号線)を通るルートについては、コミュニティバスルートの設定方針に基づき、道路の整備状況等を勘案し、全体の運行ルート、所要時間等も含めて検討していきます。 現行コースに平行する一部地区内の市道(七郷584号線～七郷520号線)については、地域住民の利便性が確保できるとともに、さらなる利用促進が望めるため、南中学校校庭の西側の市道(七郷584号線～七郷520号線)を通り、上矢作公民館方面を経由するルートを追加します。

	意見の概要	市の考え方	
		採用等	内容・理由等
4	毎日でなくても良いので、回るところを少なくして短時間で岩井に行けないか。	不採用	今回の運行計画の見直しにより、来年4月からは、一部の小学生の通学に対応できるよう、毎日運行する予定です。 時間短縮については、交通空白不便地域をなくす観点からも回る場所を少なくするのは困難ですが、所要時間の見直しから1ルートあたり5分程度の短縮となります。
5	停留所の希望を随時受け、利用者のいる近くに設けると良いのではないかと。	参考	停留所については、随時、要望を受け、増設等の検討をしていきます。
6	現在の大きいバスではなく、乗り合いワゴン車はどうでしょうか。予約制にすれば、目的地に早く着く事が出来、家の近くまで迎えに来てもらえることで、年寄りでも利用しやすくなる。予約受付と配車は、定年退職者などのボランティアで運営する。	参考	予約制の乗合タクシー等については、今後のコミュニティバスの運行状況等を勘案しながら、検討していきます。
7	全国各地にあるコミュニティバスの成功例や失敗例は参考にしましたか？	採用	コミュニティバスの導入に際して、平成17年度から市民の代表等も参画した「コミュニティバス検討委員会」を設置し、全国の導入事例を多数参考にして運行計画等の検討をし、運行しています。
8	失敗例の一つとして、よく耳にします。行政・有識者主導ではありませんか？	採用	また、小学校6年生以上を対象とした市民アンケート(対象者3,000世帯)を行ない、市民の目から見たバス交通の問題点や利用ニーズ等の調査も行っています。
9	民業圧迫をしない範囲で、コミュニティバスを充実させるには、現在の市内状況(不憫な病院・公共・行政機関)を改善するのが先ではないでしょうか？結局、現状での利用者数向上は無理があると思います。朝夕の、児童や生徒のスクールバスぐらいの役割しかないかと思えます。 それか、民間(関東鉄道や茨城急行)に補助金をこれまで以上に出し、駅までの利便性を高めてもらい、それに接続するようなコミュニティバスの在り方も良いかと思えます。	採用	今回の運行計画の見直しにより、来年4月からは、一部の小学生の通学に対応できる運行をする予定です。 また、民間の路線バスについては、各事業者と協力しながら、より一層の利便性を高めていけるよう努力していきます。

(8) ルート計画の一部変更(案)及びバス停の追加(案)について
 ルート計画の一部変更(案)について

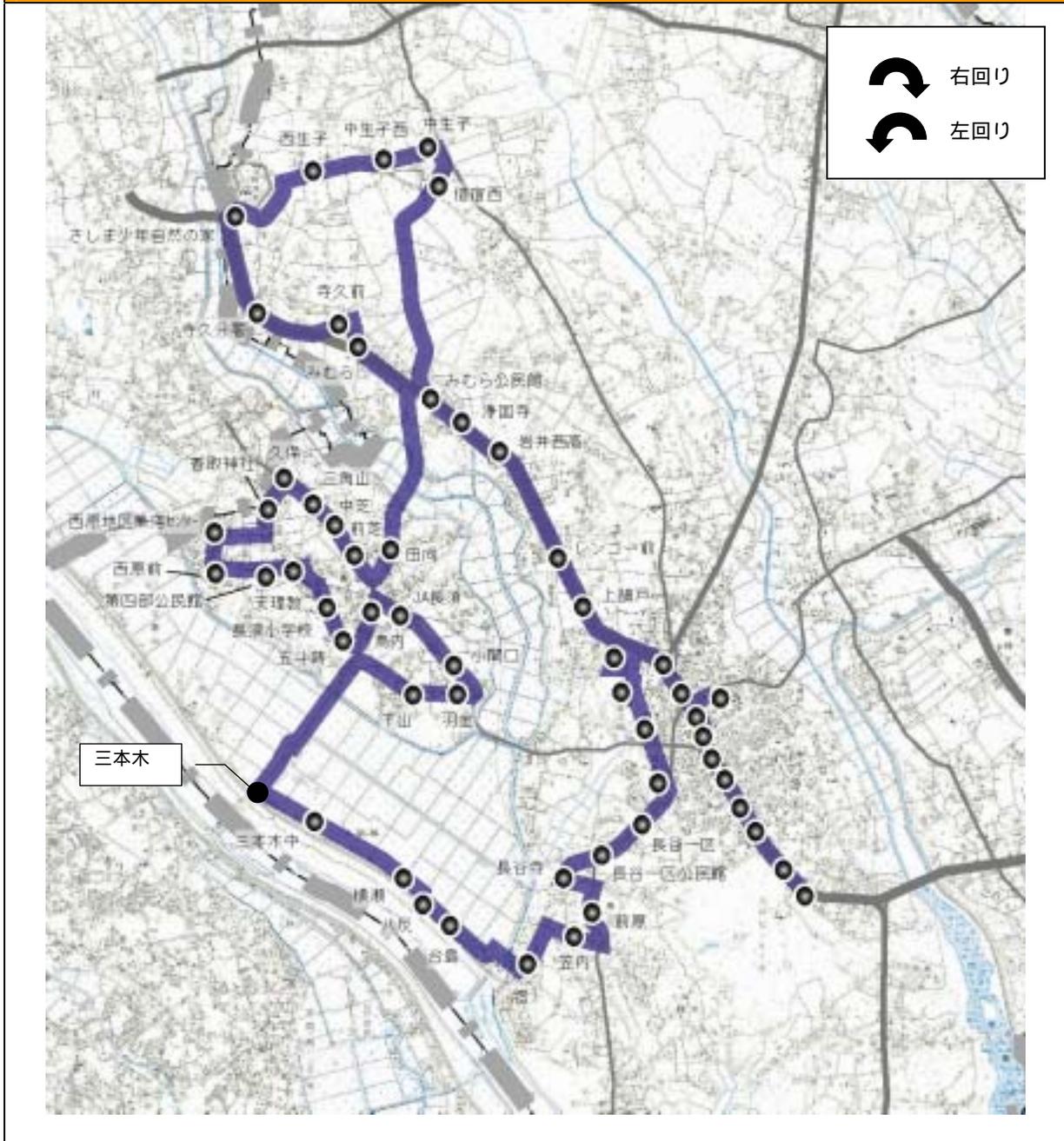
ルート計画(案)【七郷・中川ルート】



○で示した上矢作地域は、道路改良工事が行われて道路幅員が一部確保されたことにより、地域住民の利便性が確保できるとともに、さらなる利用促進が望めるため、南中学校校庭西側の市道（七郷 584 号線～七郷 520 号線）を通り、上矢作公民館方面を経由するルート（地図：赤線）を追加する。そのため、南中学校バス停先のルート（地図：緑色）については、廃止する。

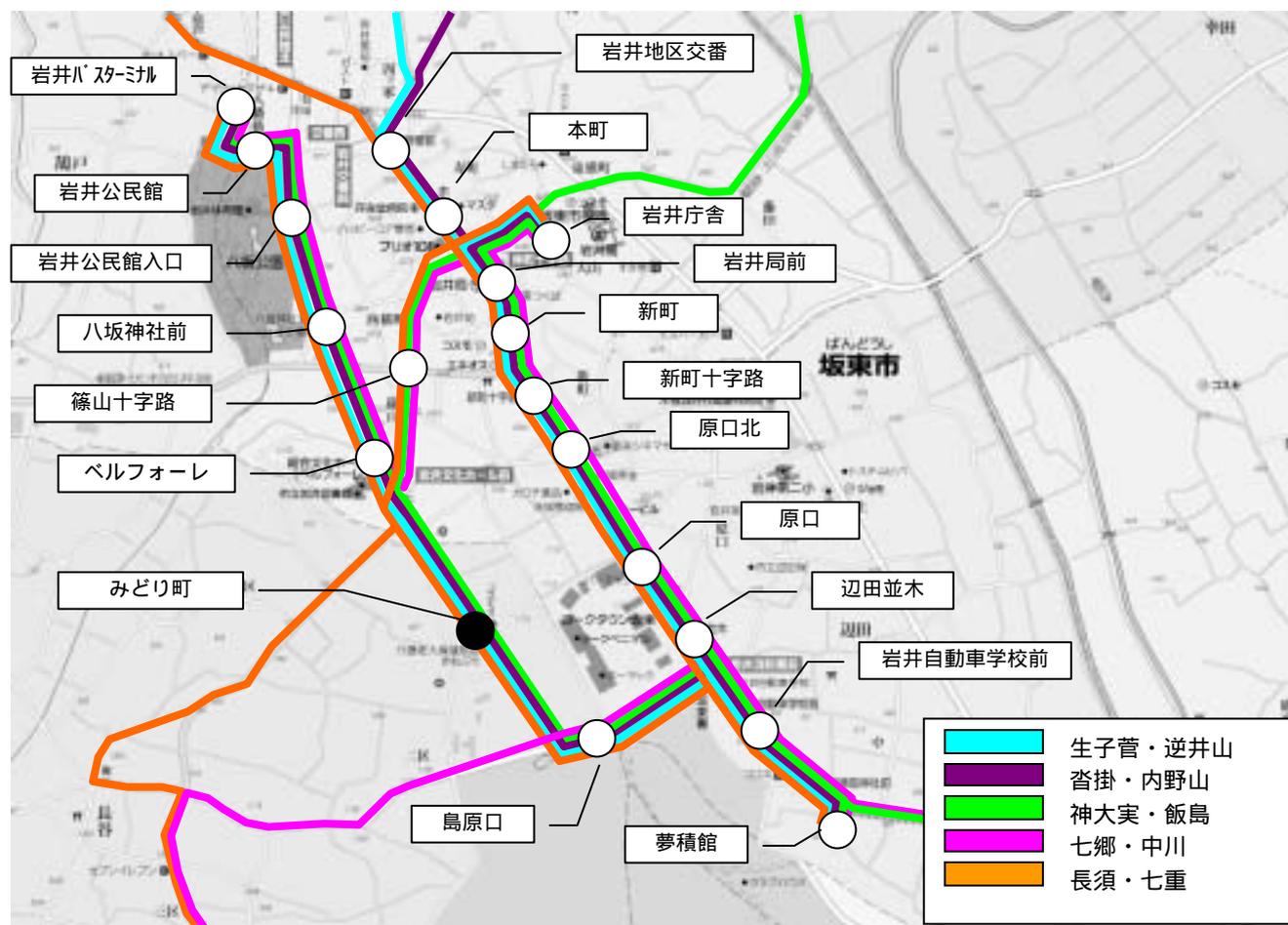
バス停の追加（案）について

バス停の追加（案）【長須・七重ルート】



地域住民の利便性を確保するため、現行のルートに三本木バス停（地図：黒丸）を追加する。

バス停の追加（案）【中心市街地】



岩井市街地の往復ルートの煩雑さを解消するため、ルートを見直したことから、介護老人保健施設きねぶちの前にみどり町バス停（地図：黒丸）を追加する。

(9) 一部小学生の通学対応について

利用時間について

半谷地区～七重小学校（生子菅・逆井山ルート）

登校時：半谷北バス停 7:40 出発（約 16 分） 七重郵便局バス停 8:00 到着

下校時：七重郵便局バス停 16:00 出発（約 16 分） 半谷北バス停 16:16

矢作新田地区～七郷小学校（七郷・中川ルート）

登校時：矢作新田西バス停 7:50 出発（約 10 分） 七郷小学校バス停 8:00 到着

下校時：七郷小学校バス停 16:00 出発（約 10 分） 矢作新田西バス停 16:10

運賃について

1 回乗車につき 100 円

回数券 100 円券 11 枚つづり 1,000 円

< 市内通学（園）バスの運行状況 >

飯島小学校

乗車人数：35 人（1～4 学年） 幼稚園児（19 人）も一緒に利用している。

料 金：利用者 1 人につき年額 往復 24,000 円、片道 12,000 円

中川小学校

乗車人数：28 人（1～6 学年） 幼稚園児（1 人）も一緒に利用している。

料 金：利用者 1 人につき年額 往復 24,000 円、片道 12,000 円

逆井山小学校

乗車人数：66 人（1～3 学年）

料 金：無料

通学（園）バスの料金については、現在、見直しが進められている。

< 市内路線バスを利用した通学状況 >

七郷小学校児童 56 人（野田市駅行きバス：茨城急行）

・芽吹橋北詰バス停 自然博物館入口バス停 料金 大人 200 円

（子ども料金）100 円×（往復）2 回×（1 ヶ月）30 日×60% = 3,600 円

・中里バス停 自然博物館入口バス停 料金 大人 200 円

（子ども料金）100 円×（往復）2 回×（1 ヶ月）30 日×60% = 3,600 円

・大根根ゴルフ場入口バス停 自然博物館入口バス停 料金 大人 260 円

（子ども料金）130 円×（往復）2 回×（1 ヶ月）30 日×60% = 4,680 円

神大実小学校児童 30 人（水海道駅行きバス：関東鉄道）

・大口バス停 猫実バス停 料金 大人 170 円

（子ども料金）85 円×（往復）2 回×（1 ヶ月）30 日×60% = 3,060 円

路線バスの定期券料金の計算方法

1 か月 運賃×（往復）2×（1 か月）30 日×60%

3 か月 1 か月分の定期券料金×3×95% 3 か月以上は設定なし。

(10) 今後のスケジュールについて

月	内 容	備 考
12月	地域公共交通会議開催 関係機関等調整	無料乗車券の実施
1月		利用促進策の実施
2月	新運行計画の市民周知準備	利用促進策の実施
3月	新運行計画の市民周知	利用促進策の実施
4月	新運行計画による運行開始	利用促進策の実施

3 コミュニティバス利用促進策の展開について

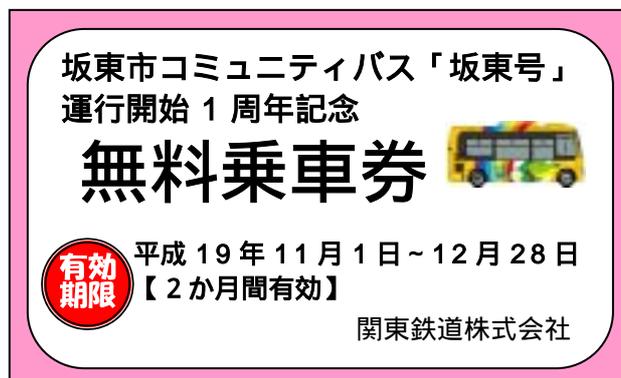
(1) これまでの取り組みについて

運行開始1周年記念無料乗車の実施

運行開始1周年記念として、平成19年11月・12月の2か月間有効の無料乗車券を発行し、利用促進を図る。

周知方法 広報紙10月号への掲載
各公共施設にポスターの掲示及び無料券の設置
バス車内にポスターの掲示
ホームページでの周知

[無料乗車券]



[周知用ポスター]

コミュニティバス坂東号 運行開始1周年!!!



「坂東号」の運行開始1周年を記念して、市民の方により多く「坂東号」に乗っていただけるよう、11月・12月の2か月間有効の無料乗車券を作成しました。1ルートにつき4便、毎日運行していますので、買い物や病院への通院等に、

無料乗車券

で「坂東号」をご利用ください。



平成19年11月1日～12月28日【2か月間有効】
年末年始（12月29日～翌年1月3日まで）は運休となります。

無料乗車券の使い方

バスに乗車の際、運転手に提示してください。

無料乗車券1枚につきお一人様に限り有効です。

11月・12月の2か月間は、この乗車券で無料で何度でもご乗車いただけます。大切に保管してください。

「坂東号」すべてのルートにご利用いただけます。

【問合せ】

関東鉄道(株)水海道営業所
TEL 0297-22-0452
市役所企画部企画調整課
TEL 0297-35-2121
(内線1264)



市民講座「坂東号で行く市内発見の旅」の実施

岩井公民館の市民講座では、市内の各施設を見学しながら、家族間の交流を深める「坂東号で行く市内発見の旅」を平成 19 年 12 月 8 日（土）に実施する。

時間	コース
9:00	岩井バスターミナル集合
10:00	さしま郷土館ミュージズ（折り紙教室、館内見学）
12:30	岩井福祉センター夢積館（見学、昼食）
13:45	坂東消防署（見学）
15:25	茨城県自然博物館（見学）
17:00	岩井バスターミナル到着

各種イベント等の車内での情報提供

将門まつりや古城まつり等のイベント、猿島資料館の企画展、茨城県自然博物館の企画展やイベント情報等のポスターを掲示することにより、バス車内でイベントや観光情報等を提供する。

広報紙、ホームページを活用してのPR

広報紙やホームページを活用して、バスの利用案内、利用状況等の情報を提供する。バスに関する情報や利用者の声等を定期的に広報紙等でPRする。

まちづくり出前講座の開催

各小学校や老人クラブに市職員が講師として出向き、バスの乗車体験、時刻表の見方等の講座を行うことにより、バスの認知度を高めるとともに利用促進を図る。

車内有料広告の募集

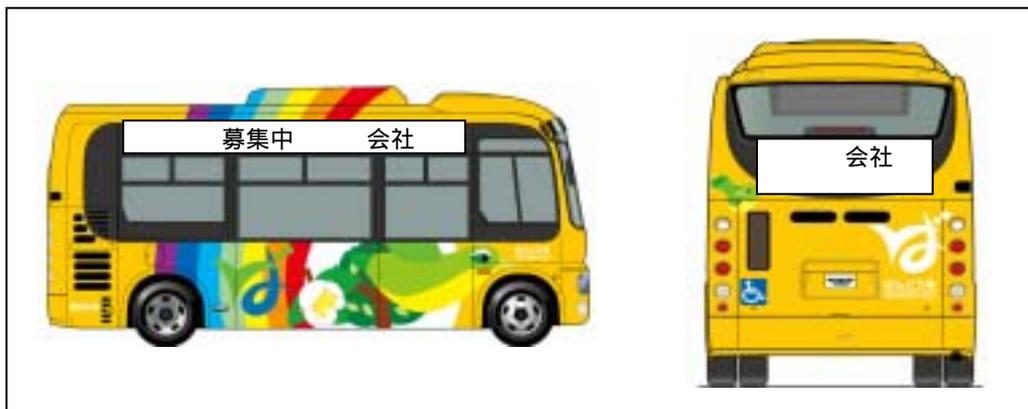
バスの運行財源を確保するため、広報紙やホームページを利用して、車内有料広告の募集を行う。（広報平成 18 年 12 月号に掲載、ホームページ掲載済み）

商工会を通して、広告募集案内を配布する。（平成 19 年 9 月実施）

(2) 今後の取り組みについて

車体面の有料広告の募集(たたき台)

バスの運行財源を確保するため、広報紙やホームページを利用して、バス車体の側面や後ろ面等を利用した有料広告の募集を検討する。



車内ぬりえ展の開催(たたき台)

保育園児、幼稚園児等にぬりえを配布して色を塗って応募してもらい、車内の広告枠を利用して車内に展示し、保護者と一緒に乗車して観覧してもらう。

- 募集方法 保育園等に直接持参し、依頼する。
保育園(公立2園・私立6園) 幼稚園(公立10園・私立2園)
図書館等にポスターとともに依頼する。
- 展示期間 2週間程度
- 枚数の設定 30枚/台×3台=90枚程度
(応募点数により調整し、2週間ごとに入れ替えて展示する。)
- 参加賞 ペーパークラフト(作成予定)

車内目安箱の設置(たたき台)

利用者が意見や感じたことをその場で記入し、入れられる目安箱を設置し、今後の運行等の参考にする。

見やすい時刻表の作成(たたき台)

すべての路線等を表記した時刻表の他に、高齢者向けの見やすい文字の大きさと、ルート毎の路線図・時刻表を作成し、公共施設や医療機関、老人クラブ等を通して配布、周知を図る。